

今年度は例年になく雨が多い春です。その影響なのか、桜の開花がいつもより遅いことがニュースになっていました。本校の敷地内の桜も、早ければ卒業式の頃には咲いているのに、修了式まで咲く気配がありませんでした。しかし、春休みの訪れとともに、正門近くの2本の桜が咲き始め、4月1日によりやく他の桜も咲き始めました。後咲きの桜の花が今、綺麗に咲き誇っています。その景色は、学校の新しい始まりを祝うかのようです。4月8日(月)に始業式、9日(火)には入学式を終え、いよいよ令和6年度が本格的に始まったと、身の引き締まる思いがしています。

今年度、本校は学校づくりのスローガンを誰にでも覚えやすく、親しみやすいように以下のように変更しました。

令和6年度 めざす生徒像

「自立型人間になろう(豊かな心を持ち、自分と他人を愛することができる生徒)」

始業式と入学式では、「心を豊かに、そして強くするためのヒント」として子どもたちに次のように語りました。(入学式は簡略化)

- ① 心を使う…大きな目的と、その実現のために自分が達成したい小さな目標を明確にします。この目標設定の際に、漠然とした言葉ではなく、具体的な数字を入れた目標にすると○×をつけやすく、△(どちらでもない)がなくなります。例えば、中間テストを頑張るのではなく、中間テストで20番以内に入るなどです。
- ② 心をきれいにする…素直で謙虚な姿勢や態度を身につけるための行動を行います。身の回りの掃除や整理整頓、奉仕活動が有効です。
- ③ 心を強くする…やると決めたことは、例外を認めず、最後まで継続してやり切ります。100%できなくても、87%できれば合格です。
- ④ 心を整理する…成功や失敗から、その要因を分析し、気づきを得て、次に生かします。
- ⑤ 心を広くする…これまでの取り組みで得た気づきや成果を他人と共有します。自分が得た気づきは自分だけに留めず、他人にもどんどんと広めていくことが重要です。

言い換えると、「大小の明確な目標設定」→「掃除や奉仕活動」+「継続した取り組み」→「評価」→「気づき・成果の共有」というサイクルによって、心を豊かに、そして強くすることができます。そんなに難しいことはありません。

今年度は、全校生徒128名と教職員25名でのスタートとなりました。「自立型人間になろう(豊かな心を持ち、自分と他人を愛することができる生徒)」のスローガンの下、子どもたちが新しい学級で新しいなかま、新しい先生方と力を合わせながら、自立に向かっての成長がなされるように、私たち大人がしっかり見守り、温かな眼差しをおくっていこうと思います。

新しく3名の教員が着任しました。よろしくお願ひします。

職名	氏名	前任校等	教科等
教諭			
教諭			
教諭			

なお、初任者指導担当の〇〇〇〇先生は、毎週水曜日の午前中のみ勤務です。どうぞよろしくお願ひいたします。